

はじめに

今、大学入試は大きく変わろうとしています。これからの大学入試では、「思考力・判断力・表現力」が重視され、これらの「学力」を評価する問題が出題の中心となることが予想されます。ただし、「思考力・判断力・表現力」は教科の学習を通して獲得されるものであり、確かな知識を身につけていなければ「思考力・判断力・表現力」を養成することはできません。「思考力・判断力・表現力」という建物は、知識という土台がなければ建てることができませんし、仮に何とか建ててみても、その建物は非常に不安定なものにしかありません。したがって、新しい大学入試においても、確かな知識を身につけることは依然として重要な課題なのです。

それは、日本史においてもいえることで、まず受験生が目指すべきものは、確かな知識の獲得です。さらに、知識を習得するにあたってもっとも基本となるのは、一つ一つの歴史用語を正確に理解しているということです。知識とは、人名や用語などのパーツがいくつもくみ合わさって構築されるストーリーです。一つ一つの歴史用語を知らなかったり、その理解が不正確であったりすれば、知識というストーリーを自分の中に正しく描くことはできません。確かな知識を身につけていなければ、「思考力・判断力・表現力」を養成することもできません。ですから、日本史の学習においては、歴史用語を正確に理解するということが、すべての学習の基盤となるのです。

本書は、みなさんの知識の習得に役立つことを目指してつくった用語集です。本書の最大の特徴は、長年受験指導に携わってきた河合塾講師がつくったという点にあります。本書における用語の選択やその解説は、あくまでも大学入試という観点から見て、必要十分なものになっており、この用語集には、大学入試に精通した河合塾講師のノウ・ハウが詰まっています。本書を利用して日本史の知識を確かなものにし、どのような入試問題がだされても、それに対応できる学力の基礎を構築してください。本書を利用してみなさんが学力を向上させることを、執筆者一同願っています。

本書の特長

～ 大学入試突破をめざして ～

この日本史用語集は、高等学校で使われているすべての日本史教科書から、**大学入試必須の用語を抽出**して編集されています。解説文は**河合塾のベテラン講師陣**が執筆。大学入試に必要な情報に的を絞った、**他の用語集とは一味違った深い説明内容**となっています。その他、以下のような特長があります。

- ・用語、別称を合わせて、約**7,000**用語を収録！
- ・用語は**3レベル**に分けてあり、入試で問われる基礎・応用・発展の用語が一目瞭然！
- ・入試に必要な要点をスピーディに確認できる「**用語一口説明**」つき！
- ・「別称」「時代(年)」「用語一口説明」を、**アイコン**で整理し掲載！
- ・**地図**や**参考図表**(整理を含む)を豊富に収録！
- ・解説文中の**重要な関連用語は赤字**で記載。**赤シート**を活用すれば効果倍増！

本書の見かた

～ ぜひ有効に活用を ～

① 時代区分

第7章

院政と平氏の台頭

② 用語

7-1 後三条親政と院政

後三条天皇 **【1069】★** ◎平安中期(1034～73、在位1068～73) ♪**延久の荘園整理令**を出した天皇
 摂関家を**外戚**とせず天皇親政を実施、摂関政治に不満をもつ**院政**らの支持を背景に、(1069)延久元年、**延久の荘園整理令**を出し、**記録荘園券契所**を設置して荘園整理を推進するとともに公領の回復をはかり、**曹坊明**の制定による単位の統一をはかるなど、天皇權威の高揚に努めた。

③ 説明アイコン

大江藤原 **【1041】★★★** ◎平安中期～後期(1041～1111) ♪**後三条親政**を支えた人物
 院政期の学者・公卿、**紀伊道**を家学として**後三条天皇**・白河天皇・堀河天皇に仕えた。後三条天皇の院政では**記録荘園券契所**の役人(書人)として荘園整理に努めた。有義院にも精通し、後醍醐王「**江家次郎**」を著した。

④ 用語説明

大江氏 **【1041】★★★** ◎平安前期～鎌倉 ♪**紀伊道**を家学とした氏族

「首家(首領氏)」とならぶ学業の家柄として、「江家」と称された。一長からは平安時代に大江氏系・大江氏系らが輩出し、鎌倉時代には**大江虎元**が出た。

⑤ 関連用語

江家次郎 **【1069】★★★** ◎平安後期 ♪大江氏系が著した儀式書

平安時代の儀式・政務を解説したもの、其書は**大江氏系**、摂関家の藤原朝通の依頼で編纂。説する範囲まで執筆した。

⑥ 地図・図表

延久の荘園整理令 **【1069】★★★** ◎平安中期(1069)

♪**後三条天皇**が出した荘園整理令

1069(延久元年)、**後三条天皇**により発令。1074(天喜2)年に最終的に立てられた荘園を停止し、それ以後に成立した荘園であっても証拠文書(契券)を備えないものは一切(受領)の政務に支持のあるものを停止した。また、所有権機構として太政官内に**記録荘園券契所**を設置し、摂関家や大寺社の荘園も例外なく審査の対象とした。この結果、荘園と公領の区が明確化し、荘園公領制が成立していくこととなった。

記録荘園券契所 **【1069】★★★** ◎平安中期

♪**記録所** ♪**後三条天皇**が荘園整理のために新設した役所

1069(延久元年)、**延久の荘園整理令**を実施するために**後三条天皇**によって設置された機関。**記録所**ともいう。太政官内に設置され、書人(役人)は**大江氏系**らが任命された。白河院の院政では**記録所**(重要職務を担当)として活躍された。

(図表34) 荘園整理令

江家の荘園整理令(932) 醍醐天皇

最初の荘園整理令

延久の荘園整理令(1069) 後三条天皇

記録荘園券契所を設置

摂関家領も整理の対象

① 時代区分

時代を大きく「古代」「中世」「近世」「近現代」の4つのパートに分け、大テーマごとに「章」として内容をまとめています。

PART1 「古代」	… 第1章～第7章	PART2 「中世」	… 第8章～第11章
PART3 「近世」	… 第12章～第17章	PART4 「近現代」	… 第18章～第29章

各章内では、さらに1-1, 1-2のように小テーマごとに内容を分けて、用語をまとめてあります。

② 用語

すべての用語に、「読みがな」と「レベルを表す★印(レベル表示)」をつけています。**レベル表示**は、入試難易レベルとして★で表し、★の数により以下のように分類していますので、確認する際の目安としてください。

★	… 標準 「大学入学共通テスト(センター試験)」レベル
★★	… 応用 「私大入試」レベル
★★★	… 発展 「難関私大入試」レベル

③ 説明アイコン

アイコンは、以下の内容を表示しており、用語の理解を助けます。

別称	… 「別称」用語を別の言葉で言い変えたもの(読みがなつき)。
時代(年)	… 「時代(年)」用語の時代、または年号。
用語一口説明	… 「用語一口説明」入試に必要な要点を一口でまとめたもの。

④ 用語説明

大学入試に必要な情報を意識し、わかりやすくかつ簡潔に解説してあります。

⑤ 関連用語

用語説明では、関連の深い重要用語を**赤字**で記載してあります。付属の**赤シート**を利用しながら学習を進めると、用語の理解がより深まります。

⑥ 地図・図表

地図・図表を豊富に掲載しており、その用語および関連する事項を理解するために、大きな手助けとなります。図表にある多くの**整理**は、入試頻出事項を中心にコンパクトにまとめています。それを飛ばし読みするだけでも、効果は絶大です。巻末に「**地図・図表一覧表**」を掲載しているので、合わせて利用してください。

目次

はじめに	3
本書の特長	4
本書の見かた	4

PART1 <古代>

第1章 原始社会

1-1 旧石器時代	10
1-2 縄文時代	12
1-3 弥生時代	16

第2章 ヤマト政権の時代

2-1 ヤマト政権の成立と発展	25
2-2 古墳文化	27
2-3 ヤマト政権のしくみ	34
2-4 ヤマト政権の展開	37

第3章 律令国家の成立

3-1 推古朝の政治・外交	39
3-2 飛鳥文化	40
3-3 律令国家の成立	44
3-4 白鳳文化	50
3-5 律令制度	53

第4章 平城京の時代

4-1 律令国家の繁栄	65
4-2 律令国家の展開	71
4-3 天平文化	77

第5章 平安王朝の形成

5-1 律令国家の再建	85
5-2 弘仁・貞観文化	89

第6章 貴族政治の成立と地方

6-1 摂関政治の成立と展開	95
6-2 国風文化	102
6-3 荘園公領制の成立	110
6-4 武士の成長	114

第7章 院政と平氏の台頭

7-1 後三条親政と院政	119
7-2 平氏政権の成立	123
7-3 院政期の文化	126

PART2 <中世>

第8章 鎌倉幕府の成立と展開

8-1 鎌倉幕府の成立	130
8-2 執権政治の成立と展開	136

第9章 鎌倉時代の推移

9-1 鎌倉時代の社会	144
9-2 鎌倉時代の経済発展	147
9-3 元寇と得宗専制政治	149
9-4 鎌倉幕府の滅亡	152
9-5 鎌倉文化	154

第10章 室町幕府の成立

10-1 建武の新政	168
10-2 南北朝の動乱	170
10-3 室町幕府の確立と展開	173
10-4 室町時代の対外関係	178

第11章 室町時代の推移

11-1 惣村の形成と土一揆	185
11-2 応仁・文明の乱と下剋上の時代	187
11-3 室町時代の経済発展	190
11-4 室町文化	195

PART3 <近世>

第12章 群雄割拠と天下統一

12-1 戦国時代	208
12-2 ヨーロッパ人の来航	213
12-3 織田信長の統一事業	216
12-4 豊臣政権の成立と展開	218
12-5 桃山文化	223

第13章 幕藩体制の成立

13-1 幕藩体制の成立	226
13-2 幕府の統制策と身分制度	231
13-3 江戸時代前期の対外関係	238

第14章 幕藩体制の展開

14-1 幕府政治の転換	245
14-2 江戸時代の経済発展	249
14-3 江戸前期の文化	262

第15章 幕藩体制の動揺

15-1 享保の改革	273
15-2 田沼政治	275
15-3 寛政の改革	277
15-4 近世社会の変容と動揺	280

第16章 幕藩体制の崩壊

16-1 欧米列強の接近	283
16-2 文化・文政時代と天保の改革	286
16-3 雄藩の台頭	288
16-4 江戸中・後期の文化	291

第17章 開国と幕府の滅亡

17-1 開国	311
17-2 貿易の開始とその影響	316
17-3 幕末の動乱	317

PART4 <近現代>

第18章 明治維新と近代国家の形成

18-1	明治維新	328
18-2	近代用語制度の整備	333
18-3	殖産興業	337
18-4	明治初期の国際関係	343
18-5	文明開化	347

第19章 近代立憲体制の成立

19-1	新政への抵抗	352
19-2	自由民権運動	353
19-3	明治憲法体制	361
19-4	初期議會	368

第20章 日清・日露戦争

20-1	条約改正	371
20-2	日清戦争と戦後の国内政治	374
20-3	日露戦争と戦後の国内政治	380
20-4	韓国併合と満州進出、日露戦後の国際関係	386

第21章 近代の経済と文化の発達

21-1	松方財政と企業勃興	391
21-2	産業革命と資本主義の成立	392
21-3	明治時代の社会運動	398
21-4	明治時代の文化	403

第22章 第一次世界大戦と日本

22-1	第一次護憲運動	425
22-2	第一次世界大戦と日本	427
22-3	大戦景気	432
22-4	ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成と協調外交	433
22-5	大正デモクラシーと社会運動	435
22-6	第二次護憲運動と政党政治の確立	439
22-7	大正・昭和前期の文化	443

第23章 恐慌の時代

23-1	戦後恐慌から金融恐慌	459
23-2	積極外交への転換と国内政治	460
23-3	金解禁と昭和恐慌	464
23-4	協和外交の再開と挫折	466

第24章 軍部の台頭

24-1	満州事変	467
24-2	昭和恐慌からの脱出と経済の軍事化	470
24-3	ファシズムの台頭	471

第25章 第二次世界大戦と日本

25-1	日中戦争	475
25-2	戦時体制の強化	478
25-3	第二次世界大戦の勃発と日本	481
25-4	アジア太平洋戦争	488

第26章 占領下の日本

26-1	占領統治の開始	494
26-2	戦後改革	496
26-3	日本国憲法の制定	499
26-4	政党政治の復活	501
26-5	経済の再建と社会・労働運動の展開	504

第27章 冷戦と日本の独立

27-1	冷戦と占領政策の転換	508
27-2	朝鮮戦争と特需	510
27-3	講和と安保条約	512

第28章 55年体制と高度成長

28-1	55年体制の成立と国際連合加盟	515
28-2	安保条約の改定	519
28-3	保守長期政権	521
28-4	高度経済成長と日本社会の変容	527

第29章 現代の日本

29-1	経済大国日本	534
29-2	冷戦の終結と55年体制の崩壊	540
29-3	世紀末から21世紀にかけての日本	547

地図・図表一覧表	558
索引	561